

令和6年1月時点

## 1. 監査・検査等

- ・国土交通省による完成検査が実施され、1月26日に国土交通省からJR西日本への合格書の交付式が実施された。
- ・JR西日本による訓練運転が昨年12月29日から行われている。

## 2. 事業費

- ・事業費総額は認可の範囲内である。

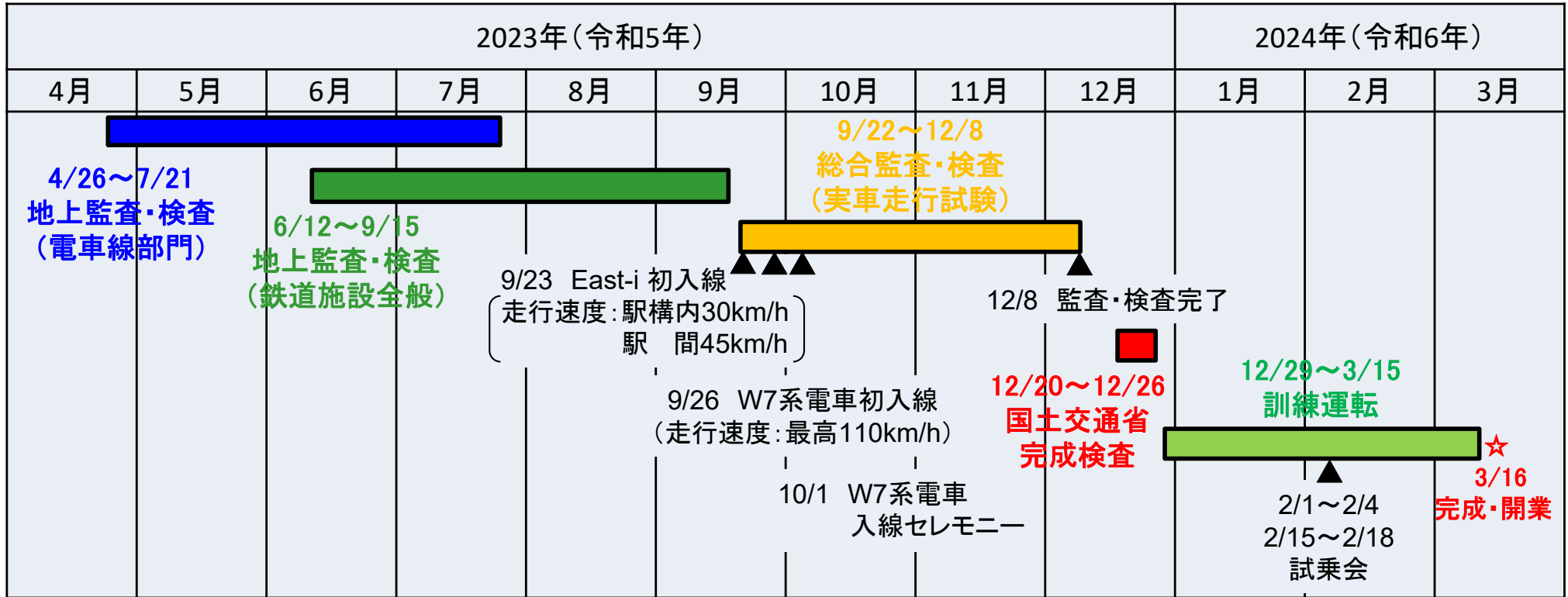
## 3. その他

- ・1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、一部施設に軽微な被害※があつたものの、3月16日の開業予定には影響しないことを確認した。
- ・2月1日～4日及び2月15日～18日に試乗会を開催する予定である。

※ 高架橋の排水樋の破損や高架下の舗装のひび割れ等

# 北陸新幹線(金沢・敦賀間)完成・開業までのスケジュール

## 完成・開業までのスケジュール



- 工事しゅん功監査(機構実施)・設備検査(JR西日本実施):  
設備のできばえ、整備状態、各種基準との照合等について確認する。
- 地上監査・検査 : 実車走行前に行う鉄道施設の確認
- 総合監査・総合検査 : 実車を使用した試験

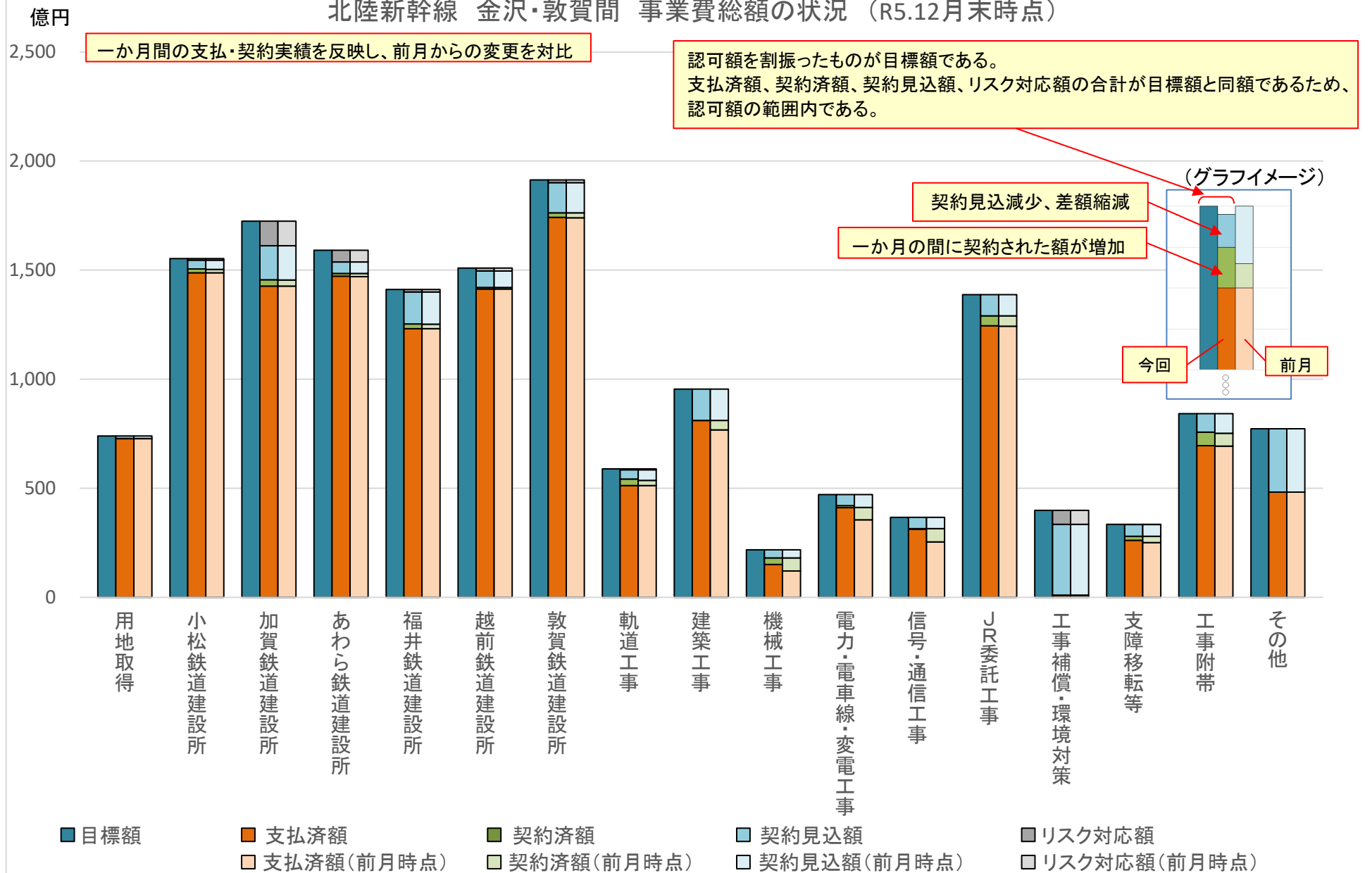
※以下はJR西日本主体で実施する項目

- 完成検査 : 国土交通省が鉄道事業者(JR西日本)に対して実施する検査  
(変電所等の電気設備については、上記日程とは別に実施)
- 訓練運転 : JR西日本が乗務員習熟等のために実施する試運転



W7系電車走行状況

### 北陸新幹線 金沢・敦賀間 事業費総額の状況 (R5.12月末時点)



## リスク管理表

	リスク	発現しているリスク	対応状況
※2 工 事	気象変化、自然災害、他地域における自然災害への対応	1/1 に令和6年能登半島地震が発生	・高架橋の排水樋の破損や高架下の舗装のひび割れ等の軽微な被害が確認されたが、3月16日の開業予定には影響しないことを確認した。
	予期せぬ地質条件変化への対応	加賀トンネルの対策工実施箇所の経過観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加賀トンネル盤ぶくれ対策について、トンネル全線で経過観察を実施している。</li> <li>・令和3年11月に計測を整理した結果、現時点では追加の対策は不要であり、軌道工事に着手しても問題ないと判断した。</li> <li>・令和3年10月29日の計測時に、2箇所で1mm未満の新規クラックが確認された。当該箇所は、水準測量等の計測結果から現時点で明確な隆起が見られていないため、軌道工事を継続することに影響はない。</li> <li>・経過観察で隆起傾向の連続性は確認されていないことから、令和5年10月25日に開催された有識者からなるトンネル施工技術特別委員会にて追加対策工は不要との結論を得た。</li> </ul>
	物価上昇への対応	-	-
	作業員・資機材不足への対応	-	-
	新型コロナへの対応	-	- (※1)
	法令変更への対応	-	-
	関係機関への対応	-	-
	施工計画変更への対応	-	-
	労働災害に関する対応	-	-
	公衆災害に関する対応	-	-
	トラブルに関する対応	-	-
その他リスク要因となり得る懸念事項	-	-	

※1 新型コロナへの対応については、R5.5.8付で感染症法上の分類が「5類」に引き下げられたことから、工程へのリスクが発現した場合の報告に変更。

※2 総合監査・検査及び完成検査が終了しており、地震の影響による支障もなく3月16日の開業に向けて予定通り事業が進捗している。

また、上記のようなリスクが発現したが、総事業費は認可の範囲内である。

現在も継続して対応しているリスク及び令和5年10月以降に発現したリスクを記載

: 前回までの報告内容